



防風林の日

令和6年度 与那国町防風林ポスター原画コンクール

最優秀賞「防風林が守る沖縄の家や食べ物」与那国小学校6年 東里 優成 さん

令和6年度標語

「防風林、怒れる風をそよ風に」

講演会:令和6年10月30日(水)14:00~ 沖縄市農民研修センター大ホール
講師/沖縄県森林資源研究センター・沖縄気象台

講演会:令和6年11月19日(火)13:00~ 与那国町構造改善センター
講師/沖縄県森林資源研究センター

植樹大会 令和6年11月19日(火) 14:00~ 与那国町

毎年11月の
第4木曜日は
「防風林の日」

防風林とは？

防風林とは、台風や季節風の力を弱くし、農作物の損傷、塩害等の被害を軽減するために植えられた林のことです。



防風林を植樹し、育てよう!!

樹が生長し、防風林として効果を発揮するまでには、長い年月がかかります。

樹が生長するまでの管理が重要です。

定期的な『**雑草防除**』『**施肥管理**』は、樹の生長を促進します。

① 種子の選び方

- 種子は、発芽しやすいものとするでないものがあります。
- 種子は、完熟した果実のものを播種しましょう。
- 種子によっては、発芽しやすいよう前もって処理を行いましょう（水に浸す、種皮に傷をつけるなど）。

② 苗木の植え方

- 健全な苗木を選びましょう。
- 植える時期に注意しましょう（旧暦の10月が適すとされています）。
- 根が地上に出ないように植付けし、苗木の周りをしっかり踏み固めましょう。

③ 健全な樹の育て方

- 苗木の生長を妨げる雑草は刈り払いましょう。
- 雑草の刈り払いは、樹が雑草に負けなくなるまで続けましょう。
- 樹の生長を助けるため肥料をほどこしましょう。
- 苗木が枯れてしまった所には補植しましょう。

④ 防風林の主な樹種（一例）

樹種名		特徴
樹種	方言	
フクギ	フクジイ	潮風害に強く、恒久的な防風林として最も重要な樹種で、成長は比較的遅い。（成長）1.5～2m/10年（樹高）中～高
テリハボク	ヤラブ	潮風害に強い。直根性でアルカリ土壌を好む。樹形が広がりやすい。種子の直接播種も可能（成長）4～6m/10年（樹高）高
アカテツ	アマンギ	潮風害に強く、海岸地域に生育する。根が浅根性である。樹形は長楕円形（成長）4～5m/10年（樹高）高
クロヨナ	ウカバ	風害に強い。根粒菌を持つため土壌適応性が広く、成長が早い。（成長）4～6m/10年（樹高）中

沖縄県防災農業推進会議では、毎年11月第4木曜日を「防風林の日」と定め、植樹大会等を開催しています。また、県内の各地域において、地域住民による植樹・保育活動が行われています。

